



# 秋剣連

発行  
 秋田県剣道連盟  
 〒010-0914  
 秋田市保戸野千代田町14-12  
 SAKAEビル 2F-B  
 TEL 018-883-0680  
 FAX 018-883-0663  
 E-mail a-kendo@abelia.ocn.ne.jp  
 http://www18.ocn.ne.jp/~axtkendo/



## 恩師の思い出



秋田県剣道連盟顧問  
 渡辺 八郎

私は小学生の頃から竹刀を握り、今日迄八十有  
 余年生涯剣道の人生を歩んでおります。

この度「恩師の思い出」と題して原稿の依頼を  
 受けまして、パッと目が覚めたように、そうだ！、  
 私の剣道の原点である恩師を偲び、日頃考えてい  
 る事を述べる良い機会と受け止め、ペンをとりま  
 した。

私は、秋田師範学校に入学すると共に剣道部に  
 入り、剣道と書道を吉井忠次郎先生からご指導を  
 頂きました。吉井先生こそ私の最高最大の恩師で  
 ありますが、その思い出については既に奥山京助  
 範士（平成10年没）が県剣道発行の「秋田の剣人」  
 の中に師弟の情余すところなく書かれております。  
 私は奥山範士と秋田師範の同級生であり、共に吉  
 井先生にご指導頂いた仲ですから奥山範士の思い  
 出は即私の思い出でもあります。また、私が剣道  
 雑誌「剣道日本」平成18年8月号に「師の背中」  
 と題して先生の思い出を執筆しております。従い  
 まして今回は恩師吉井先生の思い出は割愛して、  
 先生が師と仰ぎ、その志を受継いだ「上遠野秀忠  
 先生」に関連して稿を進めて参りたいと思います。  
 上遠野秀忠先生は、明治、大正、昭和初期に渡っ

てその名を広く全国に知られた剣豪で、秋田県で始めて剣道と槍術二道の範士となられ、門人の養成や指導を通じて、秋田県剣道の基礎を築かれ、今日に至るまで多くの名剣士を輩出して剣道秋田の名を誇っております。

先生は昭和8年、82才の生涯を閉じられたのですが、門人有志吉井忠次郎先生、土田末治先生等が發起して秀忠翁の顕彰碑を旧武徳殿（現県立美術館）の玄関脇に建立しました。その当時私は師範学校の学生で、寒稽古や試合等で毎度武徳殿に行きましたが、秀忠翁の石碑と武徳殿が一体となって厳肅と安らぎを覚える懐かしい思い出の場所でした。昭和54年、県立スポーツ会館が新築され、会館内に剣道場が併設されたのに伴い、秀忠翁の石碑も同会館の正門横に移築され、現在に至っております。



上遠野秀忠先生之碑

然し、平成16年2月、今度は県立の総合武道館が建設され、大道場の他に専用の立派な剣道場も造られました。現在は剣道の稽古や試合等諸行事一切がここで行われるため、スポーツ会館の剣道場は剣道で使われることは全く無いと事務局の方が仰っております。今や上遠野先生の石碑を訪れる人もなく、その所在さえ忘れられ、空しく白雲の流れを写しております。

ところで、私は何事も「温故知新」、先輩や先覚者の業績を学び、新しく創造的な人間になる事を目指して、青少年が剣道の研修に励む環境作りが指導者の任であると思っております。幸い秋田県には上遠野先生をはじめ数多くの先覚剣人、並びにその後継者等身近にご指導を頂いた故人の方もいらっしゃいます。今県内で恩師を偲び顕彰する剣道大会や練成会等、次のように盛会に行われております。

- ① 鳥海弘毅顕彰小中学校剣道大会  
(由利本荘市主催)
- ② 岩谷杯争奪少年剣道大会  
(南高校OB会主催)
- ③ 内山杯争奪少年剣道大会  
(剣道道場連盟主催)

- ④ 小林大二郎杯争奪小中学校剣道大会  
(合川町主催)
- ⑤ 奥山京助範士を偲ぶ3時間立ち切り剣道試合  
(湯沢・雄勝剣連主催)

ところで、話しは変わって県立武道館2階剣道場入口前の広い回廊の壁面に、夏井昇吉氏の柔道選手栄光の記録と顔写真やトロフィー、楯等が展示されております。

剣道関係では「剣道理念」の掛軸が一本掲げられておりますが、壁面にはまだ余裕がありますので、私は剣道の先覚「上遠野先生と鳥海弘毅先生の肖像画と事績」を展示して欲しいと思っております。

参考までに、上遠野先生が着用された胴、木刀、杖の3点が現存しております。(二階堂行高氏(元県警警視、上遠野先生と親戚関係)が保管しておりましたが、これを秋田県の剣道歴史資料として活用するよう委託を受けた工藤忠男氏(元県警警部、剣道教士7段)が保管しておられると聞いております。)

この貴重な資料を是非公開出来ますように願ひ、秋田県剣道連盟の益々の発展を祈願しながら、原稿を終らせて頂きます。

### 郡市連盟レポート

#### 立切る！

奥山京助範士旗 大谷博信教士杯争奪第三十二回3時間立切試合  
第十二回女子の部2時間立切試合  
平成二十三年一月十六日(日)  
秋田県湯沢市総合体育館  
主催・湯沢市雄勝郡剣道連盟

早朝の気温は氷点下七度。年明けからの降雪は止まない。鈍色の空から垂直に間断なく降りしきる粉雪。その厳冬の中を、多くの剣士が集まってきた。間もなく立切試合の開始である。

今回の基立選手は、

川村 政明 五段 (市職員 秋田県湯沢市)

原田 智徳 錬士六段 (警察官 秋田県秋田市)

継枝 卓 錬士六段 (会社員 岩手県)

原田 賢治 五段(警察官 福島県)

岩井川杏子 四段 (教員 秋田県湯沢市)

山田 朋子 五段 (主婦 秋田県秋田市)

男子は、三時間三十三名、女子は二時間二十二名の挑戦者との闘いに挑む。

◇ 開会式は、六名の基立選手入場により厳かに始まった。主催者・本郡市剣道連盟会長の前田貞一のあいさつの後、審判長の岩堀透教士八段

の説辞、そして基立選手代表の川村五段による選手宣誓が行われ、熱戦への期待が高まっていく。そして十時二十五分、試合が始まった。

第1試合場 川村政明 五段

地元代表の川村五段の持ち味は、ダイナミックな動きと大きな技であるが、この日の序盤は少し動きが固く、体が温まっていけない印象。しかし、徐々に本来の動きを取り戻し、二十試合目までを十一勝二敗七分の成績。二十一試合目の佐々木健錬士六段との面の打ち合いは壮絶であったが、川村五段は転倒しながらも健闘し、気力でこの試合を制する。最終試合の相手は柴田浩義教士七段。川村五段にとって直の恩師である。

師たるものの威厳と愛情を示すべく激しく打ち込む柴田教士七段と、その教えを全身全霊で受け止める川村五段。言葉を越えた師弟の絆を示しつつ川村五段は三時間を立切った。(二十一勝三敗九分)

第2試合場 原田智徳 錬士六段

一試合目から切れのある技を繰り出す。ゆったりとした構えで相手の動きを見切り、すりあげ、または出端をとらえて勝ちを重ねていく。その強さは、前回基立の打川淳五段をして「打つところがない。素晴らしいスピードだ。」と言わしめたほど。終盤に入り、わずかに疲れの色が見えたところを大友理宣六段に苦杯を喫するものの、強靱な精神力で最後まで

で技の切れは衰えず、驚くべき高い勝率を残して三時間を終えた。(三十勝一敗二分)

第3試合場 継枝 卓 錬士六段

今回の基立選手中最年長の継枝錬士六段は、落ち着いた静かな立ち上がりを見せたが、次第に自分の持ち味を発揮し始め、面を誘ってその出端に強烈な小手を打ち込むなど、ゆっくりとペースをつかむ。中盤に入っても気負いや力みは見られず、粛々と相手と対峙し続ける。疲労がないはずはないが、淡々と三十三人と試合を終えられる力量は、まさしくこれまででの、そして特にこの一年間の鍛錬の賜であろう。(十二勝十三敗八分)

第4試合場 原田賢治 五段

序盤からすべてを出し切ろうとする試合運びである。微妙な間合いの変化で相手の虚をつき、その刹那に繰り出される技が切れ、二十三試合目まで負け知らずである。二十四試合目、佐々木剛錬士七段の圧倒的な小手によって初めて土が付き、疲労も極限を迎えた。足がもつれ、あるいは相手の体当たりで転倒を繰り返す。そんな中でも遠くから面が飛ぶ瞬発力はすさまじく、仲間の熱い声援を背に三十三試合を終えた。(三十勝一敗二分)

第5試合場 岩井川杏子 四段

地元の声援を受け、気合いも十分

の滑り出し。もともと軽快かつ俊敏な動きを身上とするが、この日もそれが遺憾なく発揮され、先の先よし、後の先よしの試合ぶりである。中盤を過ぎ、前回基立の吉川百合子五段との試合では、疲れから転倒したものの、相手の小手に見事に反応して相小手で勝ちをつかむなど、十五試合目まで負けなしの快進撃。二十一試合目では、一本取られて敗色濃厚の間際に気迫の面で一本をとって引き分けに持ち込むなど、家族・仲間・教え子の熱い思いに励むがんばりで、二十二試合を立ち切った。試合後の「うれしかった」と言う言葉が物語るものは大きい。(十六勝一敗五分)

第6試合場 山田朋子 五段

冷静で沈着である。静かに間合いを詰め、誘っては返し、すりあげる反面、相手の出足が遅ければ面に乗るといった試合運びで、確実に勝ちを重ねていく。対戦した佐藤美歩四段は「まったくくずれない。後半になってペースがかわらない。」と舌を巻く。二十試合目に鈴木理恵四段が気迫あふれる打ちで一勝を

あふれる打ちで一勝を



挙げたが、最後まで疲れを見せずに二時間立切りを終えた。(十九勝一敗二分)

◇ 熱戦の興奮さめやらぬ中、閉会式が行われた。男子は、勝率9割3分9厘で原田智徳錬士六段と原田賢治五段が並んだが、得失点差でわずかに勝った原田賢治選手に奥山京助範士旗が手渡された。女子の部では、勝率9割9厘の山田朋子五段に直心杯が授与された。挑戦者では、男子は佐々木剛七段に大谷博信教士杯が、女子は鈴木理恵四段に殊勲賞が授与された。

立切った者と基立を陰に日向に支えてきた者とは、ともに味わったであろう爽快感と満足感は、これまでの道の在りようを示して余りあったのではないだろうか。

文・写真◆木口 昌也  
【立切試合広報担当】

# シリーズ道場紹介 第二回

## 尾去沢スポーツ少年団

● 師範または館長・経営者

菅原 孝雄

● 所在地

鹿角市尾去沢字軽井沢二二一三

● 電話 ○一八六一三二二六二六

● 本道場の歴史

三菱金属尾去沢鉱山時に、京都武道館を模して建てられ、社員が武道に励んでいた。

昭和三十八年高杉五郎先生、森康信先生、佐藤一彦先生等のご尽力により尾去沢剣道スポーツ少年団として発足した。

鉱山の閉山に伴わない道場は解体し、以来地域の体育施設、鹿角警察署道場と活動の場所を変遷し、現在は尾去沢中学校体育館で活動している。



● 稽古日と時間

毎週(土) 四時三〇分～七時

● 稽古内容・指導要点

基本を中心とした指導

● 本道場の特色

試合の勝敗を求めるのではなく、剣道の楽しさを教えるよう留意している。

市主催のジュニアリーグ研修会

及び他スポーツ団との交流会などに積極的に参加し、剣道スポーツ少年団をやって良かったと思えるように心掛けています。

● 指導者数 二名

● 門弟数 幼少年 二十二名

中学生 二名

● 最近三カ年の主な試合戦績

市民大会で常に三位以内

全県規模の戦績は特になし

● 会費

一人 千円(親の会で運営)

## 増田尚志会

● 師範または代表者

高橋 英夫

● 所在地

秋田県横手市増田町増田

字上町九九番地

● 電話 ○一八二一四五二二三九〇

● 本道場の歴史

明治二十九年(一八九六年)設立  
旧増田町制が施行された翌年の明治二十九年に増田尚志会が設立されてから今年で一五五年目を迎えた。

以来、その名が示す通り高い志をかかげつつ、時の流れと社会情勢の変遷に調和しながらも、会員共々に明確な理念をもって自己の修養に務め、精進を続けてきた。

残念ながら設立当時の記録は残されていないが、昭和八年以降の記録を見ると、増田は角間川と並んで県南の剣道の盛んな町として知られ、優れた剣士と指導者を生み出している。

中には、昭和十五年の「紀元二六〇〇年天覧試合」に県代表として出場した鈴木哲次先生、戦後の撓競技の普及に尽力された石田一郎先生等がいる。特に鈴木先生は、早稲田大学剣道部二年次の昭和六年「早大米国遠征団(団長・高野佐三郎範士)」の一員として二ヶ月間、剣道の紹介と普及の為渡米した輝かしい経歴を持つ方として語り継がれている。

● 稽古日と時間

日曜日  
午前六時三〇分～八時(全会員)  
月・火・木  
午後四時～五時三〇分(小学校)月～金  
午後四時～六時(中学校)

● 稽古内容・指導要点

基本を中心とした指導

● 本道場の特色

「尚志会」を当世風に言い換えると「ドリームス・カム・トゥルー剣友会」とも表現できる。

形の上では剣道を通して修練を行うが「尚志」には文武両道の心構え、高い志の意がこめられている。

本会も少子化の影響で運営的に厳しい状況にあるが、剣道の心を未来へつなぎ、一人でも多くの若い芽を育てたい。





- 指導者数  
八名（スポーツ少年団登録指導者）
- 会 員  
小学生 十六名  
中学生 十三名  
一般会員 四十六名 計七十五名
- 最近三カ年の主な試合戦績  
平成二十年  
第五十回全国選抜少年剣道錬成大会（水戸大会） 出場  
平成二十一年  
第六回イーハトーヴ花巻剣道大会  
会中学校女子団体優勝  
平成二十二年  
県南小中学校剣道選手権大会  
中学校女子団体優勝（二連覇）  
平成二十二年  
県南小中学校剣道選手権大会  
中学校男子団体優勝（二連覇）

### 戸澤道場（居合道・杖道）

師範または館長・経営者  
居合道教士七段・杖道錬士七段  
戸澤 郁 雄

#### 所在地

秋田県北秋田市前山字カメ山下一〇九

電話 〇一八六一六七二二四四二  
本道場の歴史

自宅内にある父の尺八道場を二十畳敷の板の間に改造し、平成十三年六月一日より、居合道と杖道の稽古場として開設した。  
床面積が狭いため、杖道の相対稽古は無理なので近くの公民館等を使用する場合もある。

全国的にも有数の少子高齢化が進んだ過疎地域のため、弟子集めに苦慮している。

#### 稽古日と時間

月曜日

午後二時三〇分～四時三〇分

水曜日 午前九時～一時

土曜日 午前九時～一二時

午後二時～五時

日曜日 随時

#### 稽古内容・指導要点

- ① 全日本剣道連盟居合
- ② 夢想神伝流居合道
- ③ 全日本剣道連盟杖道
- ④ 神道夢想流杖道
- ⑤ 神道霞流剣術
- ⑥ 内田流短杖術
- ⑦ 一角流十手術
- ⑧ 一心流鎖鎌術
- ⑨ 西野流呼吸法

（⑤～⑨は指導したいが弟子がいない）

#### 本道場の特色

「生涯錬磨」と「文武両道」を標語とし、人殺し職人に堕さぬためにも、常に技よりも心を優先させながら、人格の向上を目指している。

また、何事を達成するためにも、克己心が大切であることを武道を通じて自覚させ、社会に役立つ人間の育成を目標としている。

道場の運営にあたっては、父の教えである、退職後は「日本の伝統文化の普及と発展に尽力せよ」と「営利を目的とせず、純粹な気持で社会に貢献せよ」の、二つの点を守りながら活動している。

#### 指導者数

一名(指導者をもう一名養成中である)



- 門弟数 一般七名 合計七名
- 会費 無料

ただし、有料の場所を使用する場合は、人数割りで徴収している。

東西対抗に出場して

秋田県立秋田明徳館高等学校 講師

加藤 由佳



このたび、第五十六回全日本東西対抗剣道大会（平成二十二年九月十九日）に出場させていただきました。とても光栄に思います。出場が決まったことを知った時、出場できる喜びよりも私が選ばれていいのだろうかという不安でいっぱいになりました。大会が近づくと緊張感も高まりましたが、やるなら後悔はしたくないという気持ちも表われていきました。

会場は佐賀インターハイが行われた体育館でした。インターハイをやるほどの大きな体育館の真ん中にコートだけが作られ、肅々とした雰囲気の中で開会式が始まり、あっという間に女子の試合が始まってしまいました。



試合では自分の剣道をしようと心がけました。結果は負け、東軍も負けてしまいました。しかし、終わってみれば結果より

もこの大会で試合ができたことに喜びと充実感を感じることができました。私がこのような経験をすることができたのも東軍の監督をされた加藤浩二先生をはじめ普段の稽古での先生方のご指導があったからです。心から感謝し、この経験をこれからの自分の剣道人生に生かせるよう、精進していきたいと思えます。



写真は全日本剣道連盟ホームページより

第56回  
全日本東西対抗剣道大会

財団法人 全日本剣道連盟

期日：2010年9月19日 会場：佐賀県総合体育館



海外で翔く秋田剣人

カナダ剣道連盟審査委員長

鎌田重隆 教士八段



カナダのオンタリオ州、トロント市の西部にエトビコオリンピックアム剣道居合道クラブがあります。

以前は、エトビコ市の体育施設でしたが、トロント市に吸収され名前だけが残りました。ここは私のメイソ道場ですが、ここで水曜日と日曜日の週2回稽古しております。

毎週、40〜50人の人が集まります。日系が20%、韓国系が30%、中国系が20%、その他が30%くらいですが、ほとんどが、カナダ人です。

チーフインストラクターが、馬先生で、25年ほど前に香港から移住してきました。またアシスタントとして実際に運営している人達は、この道場で育った30歳代の若い人達です。

剣道の指導は、全て英語ですが、英語と日本語を自由に話し、剣道の言葉を体得理解し、英語で剣道を教えることが出来る人が道場には3人います。この人達は日本の剣道を理解する、カナダで生まれ育った剣道

指導者です。

そして道場には日系だけでなく、白人・黒人・中国系・韓国系・インド系・中東系、中東系の中には、ラマダンをするメンバーもおり、等しく剣道を理解し、稽古に励んでいます。



ます。

オンタリオ州は、日系人の剣道からカナダ人の剣道になりました。人種的、宗教的な違いこそありますが、剣道の基本を理解し、永く楽しめる剣道をするのが目的となっており、そしてもっと深く激しい剣道を習いたい人は日本に行く、これが無理の無いカナダでの剣道習得かと思えます。

カナダでの剣道は、自分が少しづつでも上達していき、道場に行けば仲間に出会う事ができ、稽古をした時間以上に仲間とは話す時間がある。また先生、先輩の関係はありますが、会って緊張して話すことも無いものの、どことなく先生や先輩を意識している、それがクラブの人達に共通しています。

カナダの環境に適した剣道のスタイルが、自然に出来てきます。移住者の歴史の古さを感じさせる西部の剣道、フランス系カナダ人が中心でセンスの良いケベックの剣道、いろいろな人種が同じ価値観を持って稽古をしているオンタリオの剣道と、地域差はありますがこれがカナダの剣道です。

大学に入ってから剣道を始めカナダチームのメンバーになった人が、今までに5人います。大学生は剣道の吸収力が強く、また自分たちで大会を組織運営したりする能力も持っています。

カナダで、剣道部がある大学は12大学あり、アメリカを入れますとか



なりの数になります。この大学を組織し、各国または地域での連盟を作り、それぞれの学生連盟がお互いに交流し合うことが出来るようになれたらと思っております。また学生連盟をヨーロッパ、北米、アジアなどに広げて行けると、学生時代にいろいろな国の人達と、剣道を通して交流が出来るようになると思っております。日本の学生も、剣道を通し海外にどんどん出てゆく時代が、来るのではないかと思います。若いときに、剣道という日本の文化を担いで



海外に出て行き、沢山の友達を作ることが出来るのも、剣道の良いところかと思えます。

オンタリオ州には、6つの大学に剣道部があり、学生たちだけで組織した剣道大会が、毎年1回開催されておりです。すでに学生連盟の構想は、スタートしています。

私は、1972年6月にカナダに渡りました。高校の同級で中央大学剣道部OBの熊谷君（現くまがい印刷社長）の紹介で、国際剣道連盟の理事をされていた、中央大学の須郷智先生にお会いし、カナダを紹介されました。2、3年で帰るつもりが、沢山の友達ができ、周りの人たちも

とても良くして下さい、結局カナダに住んで38年になります。

途中秋田に帰った期間が7年半ありました。長男は秋田南高、次男は附中、秋田南高とお世話になり、剣道部に所属しておりました。長女も、凌雲館で剣道を教えて頂きました。

私は小学校時代、渡辺八郎先生に剣道を教えて頂き、附中から秋田南高に進み、伊藤碩士先生に鍛えて頂きました。また杉山先生のご紹介で、芝浦工業大学に進学し、ここでは剣道部師範の佐藤博信先生にお会いすることができました。

以前、カナダには渡辺八郎先生、岩谷文雄先生、奥山京助先生、伊藤碩士先生、目黒大作先生においでいただきました。凌雲館の子供たちを渡辺先生が、秋田南高のOBを目黒先生が連れてきて下さりました。その都度、沢山の良き思い出ができました。

小学校で剣道を始めてから、秋田の大勢の剣道の先生にご指導を受け、今まででることができました。本当

に、ありがたく思っております。

若い人の中で、カナダに剣道を通して触れてみたい人がおりましたら是非ご連絡ください。お待ちしております。

秋田県剣道連盟のこれからのご発展をお祈り申し上げます。

本当にありがとうございます。

今年、渡辺八郎先生をはじめ諸先生方から原稿を頂戴いたしました。遠くカナダ在住の鎌田重隆先生からも戴くことができました。ご多忙中にもかかわらず、ご協力賜りありがとうございます。心より感謝申し上げます。

今年、渡辺八郎先生をはじめ諸先生方から原稿を頂戴いたしました。遠くカナダ在住の鎌田重隆先生からも戴くことができました。ご多忙中にもかかわらず、ご協力賜りありがとうございます。心より感謝申し上げます。



道場生と

**編集**

秋田県剣道連盟広報委員会

大森 宣昌・伊藤 隆  
芳谷 正人・佐々木松輝

**編集後記**

今年の冬は記録的な大雪に見舞われ、例年より多く除雪作業に精を出されたことでしょう。お疲れ様でした。

今回、渡辺八郎先生をはじめ諸先生方から原稿を頂戴いたしました。遠くカナダ在住の鎌田重隆先生からも戴くことができました。ご多忙中にもかかわらず、ご協力賜りありがとうございます。心より感謝申し上げます。

新年度を迎え、職場や生活環境も新しく変わる方もいることでしょう。広報委員会も一新され益々充実されることと思えます。これからも会員の皆様をはじめ、剣道に携わる多くの方々のご活躍をお祈りいたします。

(Y記)

**秋田県剣道連盟ホームページ**

秋田県剣道連盟ではホームページを開設計、年間行事や試合結果を随時更新しています。秋田県内における剣道・居合道・杖道関連の情報や大会結果を取得する際に活用ください。

URLは

<http://www.18.ocn.ne.jp/~axtkendo/>